# 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		教養Ⅲ		担当教員	湊 久恵								
(科目ID)		20e301		(実務経験)	有□	無		別紙1参照					
対象年次・学期	3年・前	前期		必修·選択区分	必修			単位数	12単位				
授業形態	講義			授業回数(1回90分)			90	時間数	180時間				
授業目的					人文科学、社会科学分野についての実力を養成する。 成、社会科学・人文科学・文章理解の得点カアップ。								
到達目標	公務員	試験に合格するため	の国語・文章理解、	人文科学、社会科学分野の領	田識および解名	答テクニ	ニックを身	とにつける。					
テキスト・参考図書等	絶対合	お格シリーズ 文章理 お格シリーズ 社会科 お格シリーズ 人文科	学テキスト・社会科										
		評価方法	評価割合(%)				評価基	準					
	試験		60%										
評価方法・	レポー	·ŀ	10%										
評価基準	小テス		20%	定期試験、レポート、小テス	ト、等を基に総	合的に	評価する	3					
	提出物												
	その他 10%												
履修上の 留意事項	19回~	-90回 担当:輕部 諭	i/テキストに沿って打	書可、スマホ不可)を持参、ノー 受業を展開する。必須な知識: こ。ノートを準備。週初回授業	を定着させ、そ	こから	連想して		ることがある。 るよう、何度も単元を繰り返す。				
	回数		履修主題				履修内容						
	1	ガイダンス、自己紹介	1 (湊)		公務員試験の文章理解、故事・ことわざ								
	2	作文(湊)			作文クイックマスター、道警試験の傾向と対策、故事・ことわざ								
	3				作文の総括、文章理解(内容把握)、故事・ことわざ								
	ľ	作文フィードバック、3	文章理解、国語 (湊	<u> </u>	作文の総括、	又早坦	性解(内谷						
		作文フィードバック、3 文章理解、国語、英島		<u>;</u> )				リスト1、故事・ことわ	ಶಕ				
	4		単語 (湊)	<u>(</u> )	文章理解(内	容把握	)、単語	Jスト1、故事・ことわ Jスト2、故事・ことわ					
	4 5	文章理解、国語、英島	単語 (湊)	<u>(i)</u>	文章理解(内	容把握容把握	)、単語 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ざざ				
	5	文章理解、国語、英草文章理解、国語、英草	単語 (湊) 単語 (湊)	<u>(</u>	文章理解(内文章理解(内文章理解(内	容把握容把握容把握	(i)、単語 (i)、単語 (i)、単語	リスト2、故事・ことわ	ార				
履修主題· 履修内容	4 5 6	文章理解、国語、英島 文章理解、国語、英島 文章理解、国語、英島	単語 (湊) 単語 (湊) 単語 (湊)		文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内	容把握容把握容把握容把握	)、単語 )、単語 )、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ	ප් ජ				
	4 5 6 7 8	文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章	単語 (湊) 単語 (湊) 単語 (湊) 単語 (湊)	<u>(i)</u>	文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内	容把握容把握容把握握不	(1)、単語 (1)、単語 (1)、単語 (2)、単語 (3)、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ	තර් තර් තර්				
	4 5 6 7 8	文章理解、国語、英 文章理解、国語、英 文章理解、国語、英 文章理解、国語、英 文章理解、国語、英 文章理解、国語、英	単語 (湊) 単語 (湊) 単語 (湊) 単語 (湊)		文章理解(内 文章理解(内 文章理解(内 文章理解(空 文章理解(空	容把握容把握字把握握 帮	)、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ Jスト5、故事・ことわ	ත් ජ ජ ජ ජ				
	4 5 6 7 8 9 10	文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章 文章理解、国語、英章	<ul> <li>羊語 (湊)</li> <li>羊語 (湊)</li> <li>羊語 (湊)</li> <li>羊語 (湊)</li> <li>羊語 (湊)</li> <li>羊語 (湊)</li> </ul>		文章理解(内 文章理解(内 文章理解(内 文章理解(空 文章理解(空	容容容々欄欄欄	)、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ Jスト5、故事・ことわ Jスト6、故事・ことわ	් ජ ජ ජ ජ				
	4 5 6 7 8 9 10 11	文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章文章理解、国語、英章	<ul> <li>単語 (湊)</li> </ul>		文章理解(内 文章理解(内 文章理解(内 文章理解(空 文章理解(空 文章理解(空	容把握握和流流。	)、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語 )、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ Jスト5、故事・ことわ Jスト6、故事・ことわ Jスト7、故事・ことわ	රේ රේ රේ රේ රේ රේ				
	4 5 6 7 8 9 10 11	文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語 文章理解、国語、英語	<ul> <li>単語 (湊)</li> </ul>		文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(空文章理解(空文章理解(空文章理解(空文章理解(空文章理解(文文章理解(文文章理解(文	容把握握和充容。不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够不够	(1)、単語 (1)、単語 (2)、単語 (3)、単語 (3)、単語 (4)、単語 (5)、単語 (5)、単語	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ Jスト5、故事・ことわ Jスト6、故事・ことわ Jスト7、故事・ことわ Jスト8、故事・ことわ	රේ රේ රේ රේ රේ රේ				
	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語文章理解、国語、英語	単語 (湊)		文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(内文章理解(空文章理解(空文章理解(空文章理解(空文章理解(文章理解(文章理解(文章	容容把握握不完整的。	<ul><li>単語</li><li>・単語</li><li>・単語</li><li>・・単語</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	Jスト2、故事・ことわ Jスト3、故事・ことわ Jスト4、故事・ことわ Jスト5、故事・ことわ Jスト6、故事・ことわ Jスト7、故事・ことわ Jスト8、故事・ことわ	රේ රේ රේ රේ රේ රේ				

	回数	履修主題	履修内容
	16	文学・芸術、国語、英単語(湊)	外国文学、四字熟語、単語リスト13
	17	文章理解、国語、英単語(湊)	SPI対策、四字熟語、単語リスト14
	18	文章理解、国語、英単語(湊)	過去問チェック、四字熟語、英文文章理解のコツ
	19	政治(輕部)	三権分立
	20	政治(輕部)	国会
	21	政治 (輕部)	内閣
	22	政治 (輕部)	裁判所
	23	政治 (輕部)	日本国憲法
	24	政治 (輕部)	地方自治・選挙制度
	25	政治 (輕部)	民主主義の発展
	26	政治(輕部)	各国の政治制度
	27	政治(輕部)	自由権
	28	政治(輕部)	社会権・参政権・請求権・その他の人権
	29	政治(輕部)	国際政治と日本
履修主題•	30	日本史(輕部)	古代~中世
履修内容	31	日本史(輕部)	近世
	32	日本史(輕部)	近代①
	33	日本史(輕部)	近代②、現代・文化史
	34	政治(輕部)	政治復習①
	35	政治(輕部)	政治復習②
	36	政治(輕部)	政治復習③
	37	経済 (輕部)	経済のしくみ
	38	経済(輕部)	企業のしくみ・景気と物価
	39	経済 (輕部)	金融政策
	40	経済 (輕部)	財政政策
	41	経済(輕部)	為替レートと貿易・国際経済との関わり
	42	経済 (輕部)	国民所得と経済成長
	43	経済 (輕部)	現代日本経済の構造と課題
	44	経済(輕部)	経済学史
	45	政治 (輕部)	政治復習④

	回数	履修主題	履修内容
	46	政治 (輕部)	政治復習⑤
	47	政治 (輕部)	政治復習⑥
	48	日本史(輕部)	日本史復習①
	49	日本史(輕部)	日本史復習②
	50	日本史(輕部)	日本史復習③
	51	世界史(輕部)	古代~中世ヨ―ロッパ
	52	世界史(輕部)	近代ヨーロッパ~市民革命
	53	世界史(輕部)	ナポレオン時代~20世紀のヨーロッパ
	54	世界史(輕部)	帝国主義~第二次世界大戦
	55	世界史(輕部)	中国史①
	56	世界史(輕部)	中国史②
	57	社会(輕部)	社会保障·情報化
	58	社会 (輕部)	労働事情・環境問題・農業問題
	59	日本史(輕部)	日本史復習④
履修主題·	60	日本史(輕部)	日本史復習⑤
履修内容	61	日本史(輕部)	日本史復習⑥
	62	経済 (輕部)	経済復習①
	63	経済 (輕部)	経済復習②
	64	地理 (輕部)	気候・地形
	65	地理 (輕部)	地図~生産量・輸出量・発電
	66	地理 (輕部)	アジア
	67	地理 (輕部)	アフリカ・ヨーロッパ・ロシア
	68	地理 (輕部)	北アメリカ〜漁業・産業
	69	経済 (輕部)	経済復習③
	70	社会 (輕部)	社会復習
	71	世界史(輕部)	世界史復習①
	72	世界史(輕部)	世界史復習②
	73	世界史(輕部)	世界史復習③
	74	世界史(輕部)	世界史復習④
	75	倫理·現代社会 (輕部)	東洋の思想~現代社会

	回数	履修主題	履修内容					
	76	倫理·現代社会(輕部)	倫理・現代社会まとめ					
	77	地理 (輕部)	地理復習①					
	78	地理 (輕部)	地理復習②					
	79	地理 (輕部)	地理復習③					
	80	地理 (輕部)	地理復習④					
	81	倫理·現代社会(輕部)	倫理·現代社会復習					
	82	時事 (輕部)	時事問題					
履修主題· 履修内容	83	政治 (輕部)	総まとめ・択一対策					
	84	政治 (輕部)	総まとめ・択一対策					
	85	経済·社会(輕部)	総まとめ・択一対策					
	86	日本史(輕部)	総まとめ・択一対策					
	87	日本史(輕部)	総まとめ・択一対策					
	88	世界史(輕部)	総まとめ・択一対策					
	89	地理 (輕部)	総まとめ・択一対策					
	90	地理·倫理·現代社会(輕部)	総まとめ・択一対策					

2023年度 吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 別紙1

2023年及	口口子园区家	10000000000000000000000000000000000000	秋心秋叩!	-14	万! 和	. 1
授業科目	教養Ⅲ	担当教員	輕き	部 諭		
(科目ID)	20e301	(実務経験)	有□	無	<b>L</b>	
対象年次·学期	3年·前期	担当教員				
授業形態	講義	(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				_
		(実務経験)	有□	無		

# 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目												
(科目ID)		20e302		(実務経験)	有		無		全国の救急救命センに従事し、当該科目(	ッターにおいて救急医として救急医療 の教育を行う		
対象年次・学期	3年・後	<b>发期</b>		必修·選択区分	必修				単位数	3単位		
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				23	時間数	45時間		
授業目的	国家記	<b>は験に合格するための</b>	知識力向上を図る。									
到達目標	国家訪	<b>は験に合格するための</b>	知識を身に付ける。									
テキスト・参考図書等	・改訂	第10版 救急救命士机	票準テキスト									
		評価方法	評価割合(%)	評価基準								
	試験		70%									
評価方法・	レポー	·ŀ	%									
評価基準	小テスト		%	定期試験ならびにその他の	結果に	こより総	合的に	評価する				
	提出物	7	%									
	その他	1	30%									
履修上の 留意事項										平次に学んだ知識の活用となりまでも二度三度と解き直しをしましょ		
	回数		履修主題						履修内容			
	1	総合演習			人体の構造と機能・生体の構成とその役割							
	2	総合演習			神経系·感覚系·呼吸系·循環系							
	3	総合演習			消化系・泌尿系・生殖系							
	4	総合演習			内分泌系·免疫系·血液系							
	5	総合演習			筋骨格系·皮膚系							
	6	総合演習			成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害							
	7	総合演習			代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死							
履修主題• 履修内容	8	総合演習			全身	所見の	観察・月	<b>局所所見</b> (	D観察			
	9	総合演習			重症	度・緊急	急度・処	』置総論・ダ	见置各論			
	10	総合演習			心肺	停止・注	ノヨック・	·循環不全	:			
	11	総合演習			意識	障害∙□	乎吸困	誰・発熱・頭	頭痛・めまい			
	12	総合演習			運動	•感覚•	痙攣∙♬	恟痛·動悸	・不整脈			
	13	総合演習		喀血	・腰痛・	背部痛	∙腹痛∙吐	血・下血				
	14	総合演習			血尿	・性器は	出血・鼻	止出血・嘔鸣	土・下痢・歯痛			
	15	総合演習			神経	·感覚·	歯・口服	₾・呼吸・彳	盾環·消化疾患			

	回数	履修主題	履修内容
	16	総合演習	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患
	17	総合演習	筋・骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・妊婦・精神疾患
	18	総合演習	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
履修主題・	19	総合演習	頭部・顔面・頚部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
履修内容	20	総合演習	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者・スポーツ外傷
	21	総合演習	熱傷・電劇症・化学損傷・異物・縊頚・絞頚・刺咬症
	22	総合演習	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温症
	23	総合演習	高山病·減圧障害·酸素欠乏症·凍傷·環境障害

# 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		研究基礎	担当教員	三上 剛人								
(科目ID)		20e303		(実務経験)	1		無		看護師として救命救 育を行う	急センターに従事し、当該科目の教		
対象年次・学期	3年・後	<b>受期</b>		必修·選択区分	必修	<b>§</b>			単位数	1単位		
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				10	) 時間数	20時間		
授業目的	研究に	こ必要な基礎的能力を	育成する。関連する	研究論文を読み知見を広げ	る。							
到達目標	救急刺	女命士に関連する研究	をクリティークする。	1つ以上の研究論文の要点	iをま	とめ、発	表でき	る。				
テキスト・ 参考図書等												
		評価方法	評価割合(%)					評価基	基準			
	試験		%									
評価方法・	レポー	· <b>k</b>										
評価基準	小テス		%	レポート、提出物により総合	的に	評価する	0					
	提出物 20%											
	その他 %											
履修上の 留意事項	研究論	(主義の) ネック (主義の) ままる こうに 基の かんしょう しょう しょう かんしょう かんしょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	を解説していきます	ト。最終的には、論文を読み	深めら	られるよ:	うに進る	めていき	きす。			
	回数		履修主題						履修内容			
	1 研究の概要				研究とは?救急医療における研究							
	2	関連学会			主に臨床救急医学会の学会誌を中心にした文献検索							
	3	文献選択		救急医療に関連する論文を読み込みます。								
	4	文献選択			救急医療に関連する論文を読み込みます。							
	5	レポート作成		読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。								
	6	レポート作成			読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。							
履修主題•	7	小グループ討議		少人数で抄読会								
履修内容	8	小グループ討議			少人数で抄読会							
	9	大グループ討議			クラ.	スルーム	でのキ	少読会				
	10	大グループ討議			クラ	スルーム	でのŧ	少読会				
	11											
	12											
-	13											
	14											
	15											

# 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		総合臨床救	急	担当教員					遠藤 貢		
(科目ID)		20e304		(実務経験)	<b> </b>		無		救急救命士として救 行う 別紙1参照	急業務に従事し、当該科目の教育を	
対象年次•学期	3年•後	ž期		必修·選択区分	必修	Ş			単位数	4単位	
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				30	時間数	60時間	
授業目的	これま	で学んできた知識を用	別い、傷病者の生命	の危険を回避し、容態の悪化	を防	ぐととも	に迅速	に適切な	医療機関を選定する	能力を培う。	
到達目標	各病態	《を理解する能力・変化	こする病態を観察結	果より判断することができる。	>						
テキスト・参考図書等	・改訂	第10版 救急救命士權	票準テキスト								
		評価方法	評価割合(%)	評価基準							
	試験		80%								
評価方法・	レポート		%								
評価基準	小テスト		10%	定期試験、小テスト、提出物	によ	り総合的	かに評価	まする			
	提出物		10%								
	その他	1	%								
履修上の 留意事項	各種病	4種病態を分類し対応。変化する傷病の理解、過去問、想定問題、分野別問題を中心に行う。模擬試験、国家試験の対策も含む。									
	回数		履修主題						履修内容		
	1	人体の構造と機能		人体の構造と機能・生体の構成とその役割							
	2	人体の構造と機能			神経系·感覚系·呼吸系·循環系						
	3	人体の構造と機能			消化系·泌尿系·生殖系						
	4	人体の構造と機能			内分泌系·免疫系·血液系						
	5	人体の構造と機能			筋骨格系・皮膚系						
	6	疾患の成り立ちと回復	夏の過程		成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害						
	7	疾患の成り立ちと回復	复の過程		代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死						
履修主題• 履修内容	8	健康と社会保障			保健医療制度·社会保障·社会福祉·保険制度						
	9	救急医療概論			救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療						
	10	救急医療概論			救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療					∄·災害医療	
	11	救急医療概論			全体	休見の	観察・周	局所所見の	の観察		
	12	救急医療概論			重症	€度・緊急	魚度・処	置総論・ダ	<b>见置各論</b>		
	13	救急医療概論			在宅医療・薬物・検査・感染とその予防・放射線						
	14	救急医療概論		コミュニケーション・ストレス・安全管理							
	15	救急症候 病態生理		心朋	持停止・シ	/ヨック・	循環不全	:			

	回数	履修主題	履修内容
	16	救急症候-病態生理学	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい
	17	救急症候-病態生理学	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈
	18	救急症候-病態生理学	喀血・腰痛・背部痛・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛
	19	救急症候-病態生理学	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛
	20	疾病救急医学	神経·感覚·歯·口腔·呼吸·循環·消化疾患
	21	疾病救急医学	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患
	22	疾病救急医学	筋骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・産婦人科・精神疾患
履修主題· 履修内容	23	外傷救急医学	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
	24	外傷救急医学	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
	25	外傷救急医学	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者外傷
	26	外傷救急医学	熱傷・電撃症・化学損傷・異物・縊頚・絞頸・刺咬症
	27	中毒•環境障害	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温
	28	中毒•環境障害	高山病・滅圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
	29	まとめ	
	30	まとめ	

2023年度 吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 別紙1

2023千皮	口口子园区深!	8件导门子仪	秋心秋叩!	-14	为1 和1
授業科目	総合臨床救急	担当教員	北川	正博	
(科目ID)	20e304	(実務経験)	有☑	無□	救急医として全国の救急救命センターにて救急医療に従 事し、当該科目の教育を行う
対象年次·学期	3年・後期	担当教員			
授業形態	講義	(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	<b>#</b> $\square$	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	

## 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		特殊外傷各	論	担当教員		奈良 理							
(科目ID)		20e305		(実務経験)	有		無		救命救急センターに し、当該科目の教育	おいて救急医として救急医療に従事 を行う 別紙1参照			
対象年次・学期	3年・後	<b></b>		必修·選択区分	必修	;			単位数	1単位			
授業形態	講義			授業回数(1回90分)				8	時間数	16時間			
授業目的	特殊外	ト傷病態の的確な観察	<b>発知識の習得。</b>										
到達目標	特殊倉	傷の観察能力の向上	と病態の理解がで	きる。									
テキスト・参考図書等	・改訂	第10版 救急救命士机	標準テキスト										
		評価方法	評価割合(%)	評価基準									
	試験		70%	6									
評価方法・	レポート		30%										
評価基準	小テスト		%	定期試験、レポートの結果に	こより	総合的	こ評価で	する					
	提出物	7	%										
	その他	1	%										
履修上の 留意事項	特異な	機序と病態を理解する。 な症状と応急処置を学ん 対背景を捉えタイムリー	<b>స</b> ్.	5.									
	回数 履修主題								履修内容				
	1	災害医療	災害について										
	2	災害医療			災害に対する救急隊の対応								
	3	外傷初期診療理論			外傷による損傷								
	4	外傷初期診療理論			外傷による処置								
	5	DMAT			DMATの実際								
	6	緊急度判断		JTAS、トリアージ									
履修主題•	7	災害救助		近年の災害について									
履修内容	8	トピックス			蘇生医療の最新等								
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
-	14												
	15												

2023年度 吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 別紙1

2023年及	口口子园区深!	8件导门子仪	秋心秋叩-	<del>厂</del> 作	万 ] 市氏 [
授業科目	特殊外傷各論	担当教員	遠	藤貢	
(科目ID)	20e305	(実務経験)	有 🗹	無	救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
対象年次·学期	3年・後期	担当教員			
授業形態	講義	(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	

# 2023年度 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		救急処置		担当教員	阿部 鯛一						
(科目ID)	20e306			(実務経験)	有		無		救急救命士として救 う 別紙1参照	急業務に従事し当該科目の教育を行	
対象年次・学期	3年·前期			必修·選択区分	必修				単位数	7単位	
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				158	時間数	315時間	
授業目的	救急活動は症状・病態に適応した救急資器材を選定し適正に活用することが重要であることから、救急活動、病態及び取扱資器材の特性を理解する。							揺器材の特性を理解する。			
到達目標	傷病者	<b>易病者の状況を多方面から捉えることが出来る観察力と、病態鑑別に必要な考察力を身につけ、適切な処置及び病院選定を行うことが出来る。</b>									
テキスト・ 参考図書等	·改訂	・改訂 第10版 教急救命士標準テキスト									
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準		
評価方法・	試験		100%								
	レポート		%								
評価基準	小テスト		%	各項目ごとに実施される試馬	倹等の	結果を	基に総	合的に評	価する		
	提出物	3	%								
	その他 %										
履修上の 留意事項	〇救急	○救急活動の中から病態を理解する。○病態に合わせた救急活動実技が主体。○メディカルラリーを通じ模擬現場活動を実施する。									
	回数		履修主題		覆修内容						
	1	オリエンテーション		救急処置の進め方について							
	2	オリエンテーション		救急処置の進め方について							
	3	3 感染症対策①			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
	4	感染症対策②			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
	5	感染症対策③			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
	6	感染症対策④			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
	7	感染症対策⑤			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
履修主題· 履修内容	8	感染症対策⑥			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について						
	9	感染症対策⑦			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について					NT	
	10	感染症対策⑧			感染のメカニズムとそれに対する予防処置について					NT.	
	11	CBL(ケースベースラ	ーニング)		救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成					卜作成	
	12	CBL(ケースベースラ	ーニング)		救急	活動に	ついて	の流れや	病態の理解・レポー	卜作成	
	13	CBL(ケースベースラ	ーニング)		救急	活動に	ついて	の流れや	病態の理解・レポー	卜作成	
	14	CBL(ケースベースラ	ーニング)		救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成					卜作成	
	15 CBL(ケースベースラーニング)				救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成					卜作成	

	回数	履修主題	履修内容
	16	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	17	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	18	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	19	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	20	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	21	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	22	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	23	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	24	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	25	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	26	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	27	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	28	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	29	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
履修主題• 履修内容	30	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
腹形凸谷	31	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	32	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	33	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	34	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	35	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	36	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	37	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	38	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	39	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	40	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	41	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	42	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	43	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	44	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	45	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成

	回数	履修主題	履修内容
	46	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	47	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	48	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	49	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	50	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	51	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	52	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	53	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	54	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	55	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	56	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	57	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	58	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	59	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
履修主題・	60	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
履修内容	61	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	62	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	63	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	64	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	65	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	66	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	67	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	68	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	69	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	70	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	71	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	72	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	73	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	74	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	75	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成

	回数	履修主題	履修内容
	76	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	77	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	78	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	79	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	80	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	81	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	82	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	83	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	84	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	85	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	86	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	87	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	88	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	89	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
履修主題・	90	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
履修内容	91	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	92	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	93	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	94	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	95	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	96	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	97	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	98	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	99	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	100	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	101	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	102	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	103	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	104	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	105	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法

	回数	履修主題	履修内容
	106	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	107	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	108	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	109	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	110	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	111	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	112	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	113	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	114	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	115	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	116	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	117	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	118	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	119	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
履修主題•	120	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
履修内容	121	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	122	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	123	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	124	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	125	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	126	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	127	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	128	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	129	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	130	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	131	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	132	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	133	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	134	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	135	メディカルラリー	傷病想定と現場活動

	回数	履修主題	履修内容			
	136	メディカルラリー	傷病想定と現場活動			
	137	メディカルラリー	傷病想定と現場活動			
	138	メディカルラリー	傷病想定と現場活動			
	139	メディカルラリー	傷病想定と現場活動			
	140	メディカルラリー	傷病想定と現場活動			
	141	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	142	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	143	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	144	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	145	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	146	外傷処置	外傷病院前救護実習			
履修主題· 履修内容	147	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	148	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	149	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	150	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	151	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	152	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	153	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	154	外傷処置	外傷病院前救護実習			
	155	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する			
	156	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する			
	157	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する			
	158	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する			

2023年度 吉田学園医春歯科専門学校 教急教命学科 別紙

2023年度	古田字園医療	图科导門字校	救忌	教命与	一种		別紙1
授業科目	救急処置	担当教員		秋葉	哲元	ŧ	
(科目ID)	20e306	(実務経験)	有		無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
対象年次・学期	3年·前期	担当教員		佐邦	<b>寨</b> 隆	:	
授業形態	実習	(実務経験)	有		無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員		遠痕	<b>薬</b> 貢		
		(実務経験)	有	ď	無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員		菩提	寺治	告	
		(実務経験)	有		無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		

## 吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		総合シミュレーシ	√ョン II	担当教員	阿部 鯛一						
(科目ID)		20e307		(実務経験)	有		無		救急救命士として救 行う 別紙1参照	急業務に従事し、当該科目の教育を 3	
対象年次・学期	3年·後期			必修·選択区分	必修				単位数	4単位	
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				90	時間数	180時間	
授業目的		救急救命士の国家試験でも現場での実践力を問う状況設定問題が大きな比重を占めている。このことは、対応能力の重要性を理解することである経験を手掛 がりに、学術的根拠に基づく行動を求める。									
到達目標	各種の	各種の情報から、症状(病態)を予測し一連の活動ができる。									
テキスト・ 参考図書等	·改訂	・改訂 第10版 教急教命士標準テキスト									
		評価方法	評価割合(%)	評価基準							
評価方法・ 評価基準	試験		100%								
	レポー	٢	%								
	小テスト		%	各項目ごとに実施される試馬	倹等の	結果を	基に終	合的に評	価する		
	提出物	3	%	-							
	その他	1	%								
履修上の 留意事項	※確実	な手技の習得(指導)	BVMから標準過程I	速な行動を目標とし進める。 レベル、特定行為までの基本 り組み方や姿勢、資器材の事					3名編成して実施する	ることから欠時はしないこと。	
	回数		履修主題		履修内容						
	1 災害医療				集団災害とは、トリアージについて						
	2	災害医療			集団災害とは、トリアージについて						
	3	災害医療		集団災害活動							
	4	災害医療			集団災害活動						
	5	災害医療			集団災害活動						
	6	災害医療			集団災害活動						
	7	災害医療			集団災害活動						
履修主題· 履修内容	8	災害医療			集団災害活動						
	9	BLSインストラクション	,		BLS準備						
	10	BLSインストラクション	,		BLS準備						
	11	BLSインストラクション	,		1年生へのBLS指導						
	12	BLSインストラクション	,		2年生へのBLS指導						
	13	BLSインストラクション	,		歯科衛生学科へのBLS指導						
	14	BLSインストラクション	,		歯科衛生学科へのBLS指導						
	15 プロトコール				器具気道確保						

	回数	履修主題	履修内容
	16	プロトコール	器具気道確保
	17	プロトコール	器具気道確保
	18	プロトコール	器具気道確保
	19	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	20	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	21	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	22	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	23	プロトコール	気管挿管
	24	プロトコール	気管挿管
	25	プロトコール	気管挿管
	26	プロトコール	気管挿管
	27	プロトコール	救急車内実習
	28	プロトコール	救急車内実習
	29	プロトコール	救急車内実習
履修主題•	30	プロトコール	救急車内実習
履修内容	31	JPTEC	JPTECとは、基本事項
	32	JPTEC	JPTECとは、基本事項
	33	JPTEC	基本動作
	34	JPTEC	基本動作
	35	JPTEC	基本動作
	36	JPTEC	基本動作
	37	JPTEC	特殊症例
	38	JPTEC	特殊症例
	39	JPTEC	特殊症例
	40	JPTEC	特殊症例
	41	JPTEC	特殊症例
	42	JPTEC	特殊症例
	43	JPTEC	特殊症例
	44	JPTEC	学内認定(手技確認)
	45	JPTEC	学内認定(手技確認)

	回数	履修主題	履修内容
	46	グループワーク	ジグソー法
	47	グループワーク	ジグソー法
	48	グループワーク	ジグソー法
	49	グループワーク	ジグソー法
	50	グループワーク	ジグソー法
	51	グループワーク	ジグソー法
	52	グループワーク	ジグソー法
	53	グループワーク	ジグソー法
	54	グループワーク	ジグソー法
	55	グループワーク	ジグソー法
	56	グループワーク	ジグソー法
	57	グループワーク	ジグソー法
	58	グループワーク	ジグソー法
	59	グループワーク	ジグソー法
履修主題•	60	グループワーク	ジグソー法
履修内容	61	グループワーク	ジグソー法
	62	グループワーク	ジグソー法
	63	グループワーク	ジグソー法
	64	グループワーク	ジグソー法
	65	グループワーク	ジグソー法
	66	グループワーク	ジグソー法
	67	グループワーク	ジグソー法
	68	グループワーク	ジグソー法
	69	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	70	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	71	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	72	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	73	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	74	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	75	グループワーク	医療機器管理実習指導案

	回数	履修主題	履修内容
	76	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	77	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	78	グループワーク	医療機器(サチュレーションモニターについて)
	79	グループワーク	医療機器(除細動器について)
	80	グループワーク	医療機器(12誘導心電図について)
	81	総合演習	プロトコール・CBL総括
	82	総合演習	プロトコール・CBL総括
履修主題· 履修内容	83	総合演習	プロトコール・CBL総括
	84	総合演習	プロトコール・CBL総括
	85	総合演習	プロトコール・CBL総括
	86	総合演習	プロトコール・CBL総括
	87	総合演習	プロトコール・CBL総括
	88	総合演習	プロトコール・CBL総括
	89	総合演習	効果測定
	90	総合演習	効果測定

**2023年度 吉田学園医療歯科専門学校 救急教命学科** 別紙1

2023年及	古田子园区原图件导门子仪		权总权叩子件				<b>万</b> リ 祚氏
授業科目	総合シミュレーション II	担当教員		佐藤	隆		
(科目ID)	20e307	(実務経験)	有 🗹	ſ	無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
対象年次·学期	3年•後期	担当教員	<b>#</b>	秋葉	哲夫	ŧ	
授業形態	実習	(実務経験)	有区	1	無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員		遠藤	貢		
		(実務経験)	有┗	1	無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員	į	菩提寺	- 浩	ī	
		(実務経験)	有【】	1	無		救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を 行う
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有□	]	無		